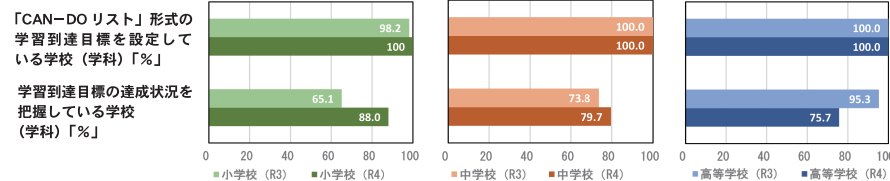


### 地域や世界で活躍できる人材の育成

地域の特色を生かした学習活動を通して、郷土への理解を深めることができるようにするとともに、児童生徒一人ひとりがグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成に努める。

外国語教育における「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定状況等(小学校・中学校・高等学校)



R3年度、R4年度 英語教育実施状況調査(文部科学省) 都道府県別一覧表より

#### ◇伝統や文化等に関する教育の推進◇

○ 『ふるさと山梨』の活用や地域との連携等により、郷土に関する学習を推進する。【小・中・高・特】

#### ◇外国語教育の充実◇

○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の4技能5領域の言語活動を着実に実施し、コミュニケーション能力を育成する。【小・中・高・特】

○ CAN-DOリスト形式による学習到達目標を基にしたパフォーマンス評価を計画的に実施し、総括的評価に生かす。【小・中・高】

#### ◇キャリア教育・職業教育の推進◇

○ 「やまなしキャリア・パスポート」を活用し、年度始めや学期末、年度末など節目の時期に目標設定や振り返りの場を設けるとともに、教師等が対話的にかかわることで児童生徒のキャリア形成を促し、学年・校種間の学びをつなぐ系統的な取組を実践する。【小・中・高・特】

○ 地域や産業界との連携・協働による職業教育や社会・地域課題の解決を通じて、人間力豊かな、地域を支えるリーダーの育成を図る。【高】

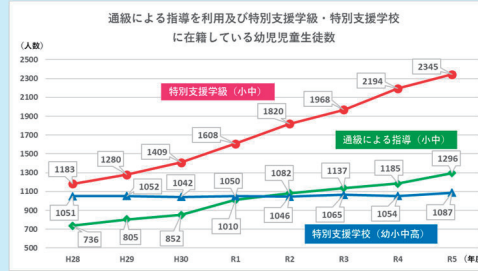
### 特別支援教育の充実

特別支援教育に関する専門性を高め、多様な学びの場(通常の学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校)における教育の充実に努める。

#### すべての教職員が特別支援教育を標準装備に

障害のある児童生徒を含め、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が通常の学級にも在籍

H28～R5年度 特別支援教育・児童生徒支援課調べ



#### ◇教師の専門性の向上◇

○ すべての幼児児童生徒に対して、特別支援教育の視点をもって指導・支援するために、特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上に関する研修会を実施する。【幼・小・中・高・特】

○ 特別支援学校のセンター的機能の活用や関係機関との連携を密にし、個々の教育的ニーズに応じた教育活動の充実に努める。【幼・小・中・高・特】

#### ◇教育内容・教育環境の充実◇

○ 学校生活に困難のある幼児児童生徒に対し、適切な教育環境が提供できるよう、校内委員会をはじめとする校内支援体制の整備を行う。【幼・小・中・高・特】

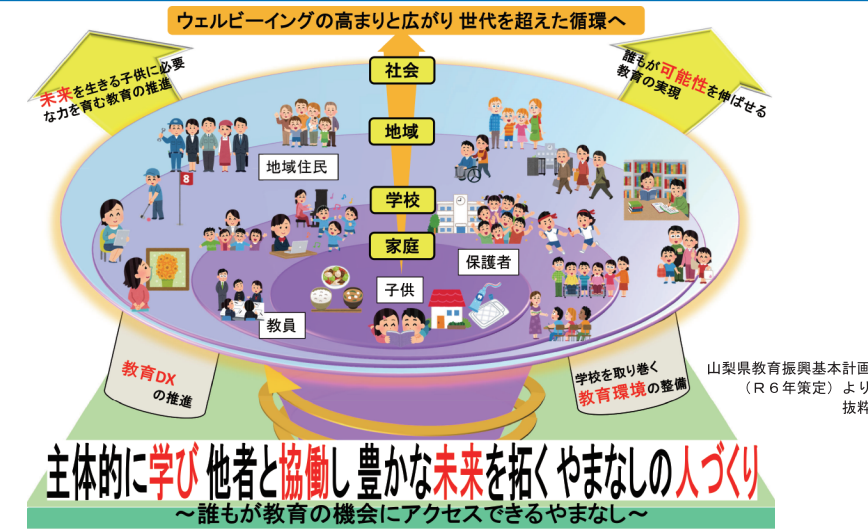
【幼・小・中・高・特】

○ 学校生活に困難のある幼児児童生徒に対し、個別的教育支援計画を作成・活用し、個々の特性に応じた支援を行う。【幼・小・中・高・特】

○ 障害のある幼児児童生徒一人ひとりの障害の状態や教育的ニーズに応じて、必要な合理的配慮を提供する。【幼・小・中・高・特】

○ 交流及び共同学習等により、障害(者)理解教育の機会を設定し、多様性を認め合える集団づくりを行う。【幼・小・中・高・特】

## これからの山梨県が目指す学校教育



#### ◇今、学校として取り組むべき事項の例

### ◎ 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の導入

“よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る”という目標やビジョンを共有する

文部科学省 コミュニティ・スクールのつくり方

コミュニティ・スクールのつくり方(文部科学省)より抜粋

### ◎ 「インクルーシブ教育」の推進

“共生社会の担い手づくり”という考えを共有する

R5全教職員インクルーシブ教育推進研修修了、必要と考える取り組み(%)

学校種別	他の児童生徒への理解啓発	児童生徒の実態把握	教職員間の情報共有	児童生徒のニーズに合わせた教材の活用
小学校	65	60	55	50
中学校	60	55	50	45
高等学校	55	50	45	40
特別支援学校	70	65	60	55

令和5年度 特別支援教育・児童生徒支援課実施全教職員研修ふりかえりシートより

### ◎ 「地域クラブ活動」への移行

【平日と休日の活動(例)】

平日(学校部活動)	休日(地域クラブ活動)
バレーボール部	① 平日と同じ種類の活動(バレーボール)
	② 平日と異なる種類の活動(野球・サッカー等)
	③ 休み(ピアノなどの習い事等)

“スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことのできる機会”を確保する

県「やまなし学校部活動及びやまなし地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

## 「教育DX」の推進

#### ◇教育現場におけるDX化の意義

- ◎「教職員」の視点から → 一人ひとりに合った教育の提供、校務の負担軽減などが可能に
- ◎「児童生徒」の視点から → 場所を問わない学び、デジタルによる新たな学びなどが可能に

## 山梨県教育委員会

Yamanashi Prefectural Board of Education  
山梨県甲府市丸の内一丁目6-1  
電話 055-223-1741(代表)



## 令和6年度山梨県学校教育指導指針

～重点を置きたい主な取組～



### 学習指導要領

## 山梨県学校教育指導指針

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 地域や世界で活躍できる人材の育成
- 特別支援教育の充実

### 学級経営・HR経営の充実

『令和6年度山梨県学校教育指導指針～重点を置きたい主な取組～』は、『山梨県教育大綱(R6年策定)』、『山梨県教育振興基本計画(R6年策定)』の方向性にもとづき、各校種を通じて県全体で重点的に取り組むべき指針を示したものです。学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現を重視し、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが求められています。

山梨県教育大綱(R6年策定)

山梨県教育振興基本計画(R6年策定)

## 子供主体の授業への授業観の転換

現状の一斉授業スタイル → 多様な他者と協働したり、自ら自己調整したりして学習を進めていく「子供主体」の授業への転換が図られることにより、子供一人ひとりの関心・意欲や特性にもとづいた学びを実現する。

◎ 授業において1人1台端末などのICT環境を活用した、主体的・対話的で深い学びを充実する

◎ 課題解決型の探究活動やSTEAM教育等の教科等横断的な学びを充実する

山梨県教育振興基本計画(R6年策定)より

### 「子供主体の授業への転換」に向けた取り組みの参考例

「よのなか科」実践の様子

中高生PBLプログラム体験事業

※実践の様子は、教職員を対象とした限定公開です。視聴するにはYeLのID・パスワードが必要となります。

県総合教育センターでは、ICTを効果的に活用し、教育の充実に図る際に役立つ情報や実践事例を公開しています。

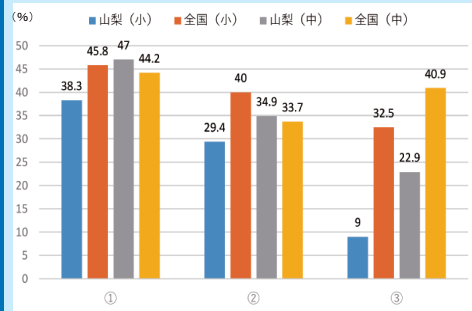
- 基礎・基本
- ツールの使い方
- 授業等での活用・実践



### 確かな学力の育成

学習指導要領の趣旨を踏まえた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める。

#### 小・中学校における児童生徒のICTの活用



- ①自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。【週3回以上と回答】
- ②児童生徒がやりとりをする場面では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。【週3回以上と回答】
- ③PC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。【毎日利用できる」と回答】

R5年度 全国学力・学習状況調査質問紙調査（文部科学省）

#### ◇授業の改善◇

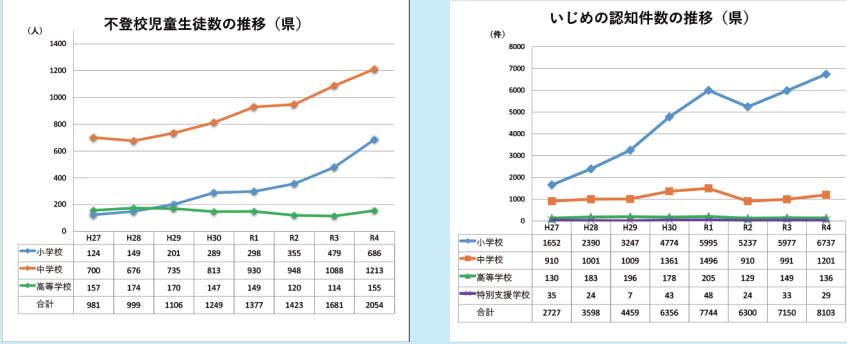
- 児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される授業づくりを行う。【小・中・高・特】
- 児童生徒が各教科等の「見方・考え方」を働かせられるよう、各教科等の特質に応じた言語活動の充実を図る。【小・中・高・特】
- それぞれの教科等の目標を実現するとともに、児童生徒の発達段階を考慮しながら情報活用能力を育成できるよう、1人1台端末等のICT環境を日常的かつ効果的に活用した授業の充実を図る。【小・中・高・特】
- 単元や題材など内容や時間のまとまりで、学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かせるように、指導と評価を一体的に改善する。【小・中・高・特】

#### ◇教育課程の評価・改善◇

- 幼保小の円滑な接続を図るため、「幼保小の架け橋プログラム」に基づく5歳児のカリキュラム及びスタートカリキュラムを実施し、評価・検証、改善に取り組む。【幼・小】
- 小学校高学年における教科担任制を推進し、義務教育9年間を見通した中学校区での教育課程を検討するとともに、小中連携による効果的な指導の実現を図るため、小・中学校合同の研究会を実施する。【小・中】
- 生徒の基礎学力の定着度合を定期的に測り、生徒の学力向上に資するため、各学校の実情に応じた適切な学習評価を実施し、PDCAサイクルを構築する。【高】
- 高校卒業以降の教育や職業との円滑な接続を図るため、関連する教育機関や企業等と連携し、社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を育成することができるよう、教育課程の工夫や評価の改善に取り組む。【高】
- 障害や特性に応じて作成される個別の指導計画に基づいて行われた学習の状況や結果を適切に評価し、教育課程の評価と改善につなげる。【幼・小・中・高・特】

### 豊かな心の育成

豊かな心の育成を目指し、学校の教育活動全体を通じて、安心できる環境づくり及び児童生徒一人ひとりに対応した切れ目のない組織的な支援に努める。



H27～R4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）

#### ◇人権教育・道徳教育の推進◇

- 自分の大切さや他の人の大切さを認めるために求められる人権感覚を涵養し、実践力や行動力を育成するため、児童生徒の発達段階や地域の実情に応じ、学校の教育活動全体を通じて人権教育への取組を促進する。【小・中・高・特】
- 道徳教育の方針・重点、各教科・科目等との関係などを明らかにした全体計画に基づき、道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。【小・中・高・特】
- 児童生徒の実態や地域の実情を踏まえて道徳教育推進運動を実施する。【小・中】

#### ◇いじめ・不登校等への対応◇

- 発達支持的生徒指導の充実を図るため、児童生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりの研修を校内研修計画に位置付ける。【小・中・高・特】
- ケース会議等を通して、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教職員、関係機関等と連携・協働し組織的な支援体制を構築する。【幼・小・中・高・特】
- 幼児児童生徒に切れ目ない指導や支援が継続されるよう、異校種間で情報交換等を行い、校内での共有を徹底する。特に、進級・進学時には留意する。【幼・小・中・高・特】
- 困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等への対処方法を身に付ける「SOSの出し方に関する教育」、「自殺予防教育」について取り組む。【小・中・高・特】
- いじめの未然防止、早期発見・早期対応を図るため、定期的に「学校いじめ防止基本方針」を見直し、状況に応じて改訂する。【小・中・高・特】
- 初期対応の重要性を踏まえ、複数の教職員による聴き取りを速やかに行い、状況を把握し、「チーム学校」として取り組む。【小・中・高・特】
- インターネット上のいじめが、重大な人権侵害に当たることを理解させるなど、情報モラル教育を推進する。【小・中・高・特】
- 学校外で相談・指導を受けている不登校児童生徒の様子を把握するため、教育機関及び民間施設等と適切な連携を図る。【小・中・高・特】
- 貧困やヤングケアラーの状態にある児童生徒の早期発見・状況把握に努め、関係機関との連携を図り、適切な支援につなげる。【小・中・高・特】



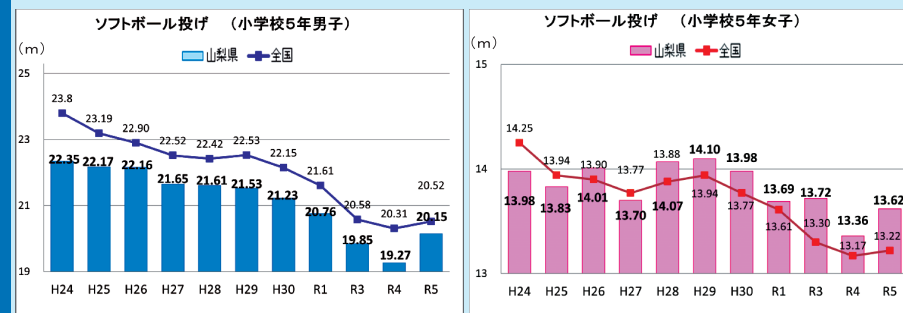
文部科学省 生徒指導提要（改訂版） 1

#### ◇学級経営・ホームルーム経営の充実◇

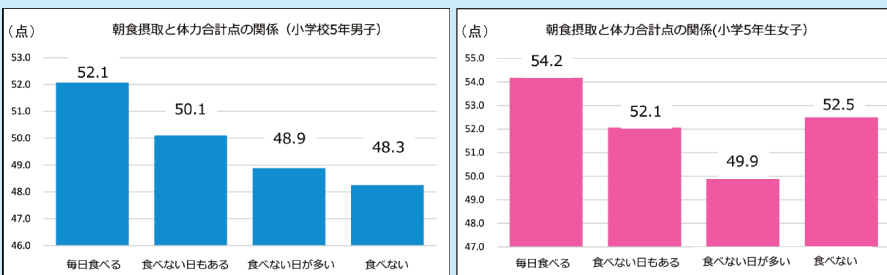
- 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級・ホームルーム・学年等の集団づくりに取り組む。【小・中・高・特】
- 児童生徒が所属感、自己肯定感、自己有用感を持つことができるよう、集団・個人として課題解決に向けた目標や方法・内容等をまとめたり、決定したりする活動を行い、一人ひとりのよさや可能性を生かすよう取り組む。【小・中・高・特】

### 健やかな体の育成

学校の教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図り、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を相互に関連させながら、望ましい生活習慣の形成に努める。



H24～R5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）  
※R2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため調査をしていない



R5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）  
※体力合計点：50m走やボール投げ等8種目の測定値を、それぞれ10点満点に換算し、合計した得点

#### ◇体力の向上◇

- 新型コロナウイルス感染拡大前の運動状況に近づけるため、体育授業における運動強度や体育的活動における実施内容の工夫（※1）、休憩時間における運動遊びの奨励（※2）に取り組む。【小・中・高・特】
- 運動習慣、朝食摂取、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図る。【幼・小・中・高・特】
- 各学校の課題を踏まえた「健康・体力づくり一校一実践運動」に取り組む。【小・中・高】
- 体の基本的な動きを培っておくことが重要な時期に、投の運動遊び等、遊びの中から様々な体の動かし方を身に付けることに取り組む。【小】

#### ◇健康教育の充実◇

- 健康に関する指導を、体育・保健体育をはじめとする各教科や特別活動、総合的な学習（探究）の時間等と相互に関連させて実践する。【小・中・高・特】
- 自らの健康を適切に管理し、望ましい生活習慣を確立していくための資質・能力を育成するため、健康と命の大切さについての理解を深めるがん教育等に取り組む。【小・中・高・特】
- 各学校の食に関する課題に応じた目標を設定し、課題解決に資する取組を計画的に行う。【小・中・特】

#### ◇安全教育の推進◇

- 自校の安全教育に係る取組を評価・検証し、学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し・改善を行う。【幼・小・中・高・特】
- 交通事故等を未然に防ぐなど、児童生徒が自分で自分の身を守る能力を育むことができるよう、安全教育教材等を活用した実践に取り組む。【小・中・高・特】